

危険物の危険性を再認識するために ～危険物安全週間～

6月2日
～6月8日

危険物安全週間とは

6月の第2週（令和元年度は6月2日から8日まで）は危険物安全週間です。
一旦火が付くと爆発的に燃焼する危険物ですが、私たちの生活に身近な危険物であるガソリンや灯油等はその危険性を忘れがちなため、危険物安全週間を通して危険性を再確認してもらうことが重要です。

当消防本部では、危険物安全週間の取り組みとして、危険物を取り扱う事業所に対して、安全を確保するための立入検査を行うなどして、火災予防に努めています。

【平成25年福知山花火大会爆発事故】



令和元年度 危険物安全標語

『 無事故への 構え一分の 隙も無く 』



死者3名、負傷者59名の甚大な被害となった福知山花火大会の爆発事故は、発電機に給油する際に、誤った方法にてガソリンの取扱いを行ったため発生しました。

久留米広域消防本部の取り組み

- 火災予防立入検査の実施
- 優良事業所の表彰（危険物保安功労者表彰）
- 危険物安全講習の実施

お問い合わせ先：久留米広域消防本部 予防課
TEL:0942-38-5159 FAX:0942-32-4603

